

令和4年度 実践報告

～ふくし教育の芽吹き～



子どもたちの学びを
地域でつくっていき
「共に生きる力」を
育んでいきます

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会

共に生きる地域をめざして

佐世保市社会福祉協議会では、お互いに思いやり、認め合う心を育むために、学校と連携したふくし教育を推進しています。

学年や時間数など学校のニーズに合わせ、関係機関と連携し、福祉や当事者講師による講話、車椅子などの体験学習、地域の方との交流などを行っています。

社協が行う「ふくし教育」の実績（R4年度）

令和4年度は市内の小中学校のうち22校（小学校20校、中学校2校）と連携し、ふくし教育を実施しました。

講話・体験

- ・「ふくし」ってなんだろう？
- ・障がいについて知ろう
- ・年をとるってどういうこと？
- ・自分が住んでいる地域を知ろう
など

協力講師

- ・視覚障害者協会
- ・県ろうあ協会
- ・佐世保WBC（車椅子バスケットボールクラブ）
- ・ユニバーサルライフ研究会
（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）
- ・パソボラ・こころのかけはし
- ・市内福祉施設

聴覚障がいについて学ぼう

当事者講師の方と交流し、聴覚障がい者のできること・優れているところに着目し、「ちがい」と「おなじ」を学びます。



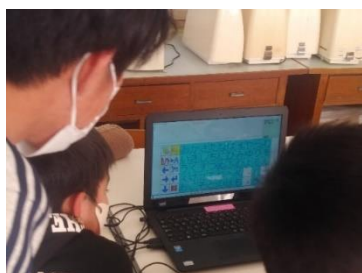
ふくしの目線で「まち探検」

自分の町の中にある段差や坂道など、体が不自由な人にとってバリアとなる箇所を調べ、誰もが暮らしやすいまちづくりに必要なことを考えます。



色々なコミュニケーション方法を学ぼう

障がい者のコミュニケーションを図るために開発されたパソコンソフトを体験し、安心して暮らせる社会づくりに向けた一人ひとりの行動について考えます。



障がい者スポーツを体験しよう

障がい者スポーツの楽しさや選手の取り組む姿勢を学び、共に生きることの大切さへの理解を深めます。



年をとってどういうことだろう？

福祉施設で働いている方から話を聞き、高齢者についてやコミュニケーションの大切さ、介護の仕事の魅力について学びます。



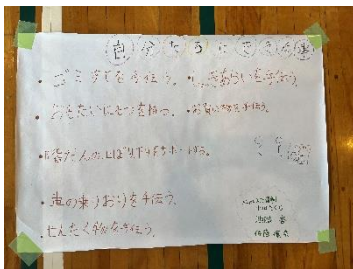
車椅子・アイマスク・高齢者疑似体験

車椅子などの福祉用具を使い、いつもの学校を当事者の目線で体験することで、支え合いや相手に対する思いやりの大切さを学びます。



学んだことをふりかえろう

福祉について学んできたことを通して、高齢者や障がい者に限らず、自分たちが地域の一員として暮らしていく中でできることを考えます。



学んだことを友達に伝えよう

話を聞いて感じたこと、体験して気づいたこと、自分で調べたこと、学習したまとめを発表し、「ふくし」について、自分の考えを友達と共有します。



「ふくし教育」実施後の変化

児童の感想

- みんなが幸せになるためにできることや、何か手伝えることがあれば手伝おうと思った。
- 障がいがあってもなくても困っている人がいたら助ける。
- 助け合うこと、平等に生きることが大事だと思った。
- 街の中、生活の中にあるユニバーサルデザインなどの工夫があることで助かることがわかった。
- 困っている人がいたら、できるところは手伝って、自分ができないところは近くにいる大人の人に助けてもらおうと思う。

先生の感想

- 「ふくし」を学習したことによって、普段の生活の中での児童の見方（視点）が変わった。例えば、「あの店の自動販売機はユニバーサルデザインがあったけど、あの店の自動販売機にはなかった」「点字を見つけた」など、何気なく生活している中にも、誰もが暮らしやすいように「ふくし」の色々な工夫があるのだという気づきを持つようになった。



導入

学びの目的を明確化

体験・交流

外部講師による
講話や疑似体験

ふりかえり

「気づき」の共有

導入

- ・何のために学ぶのか、目的を明確にします。
- ・福祉に関する「言葉」や「出来事」など、身の周りの福祉からテーマを設定します。

体験・交流

- ・外部講師を招き、講話や体験を行い、学習を深めます。
- ・外部講師等との連携により充実した学習になります。
- ・講話や体験・交流により多くの「気づき」が生まれます。

ふりかえり

- ・体験・交流で得た「気づき」を共有します。
- ・これまでの学習をふりかえり、自分自身に置き換えて物事を考えます。

5つのサポート

①プログラムの企画・提案	学校・学年に応じたプログラムの企画と提案
②講師・協力団体への依頼・日程調整	ゲストティーチャーの調整(障がいのある方、福祉施設、民生委員、老人クラブなど)
③当日資料や福祉用具の準備	説明資料・ワークシートの準備や福祉用具の運搬
④講師謝金の支援(予算の範囲内)	講師謝金+交通費にかかる費用の補助
⑤当日授業の進行	“授業のねらい”から“まとめ”まで行います

佐世保市社会福祉協議会は先生の“思い”をかたちにするお手伝いをさせていただきます！

お気軽にお問い合わせください



社会福祉法人
佐世保市社会福祉協議会

〒857-0028 佐世保市八幡町6-1

【開所時間】8:30～17:15

(土・日・祝日・年末年始は休み)

☎0956-23-3174

ホームページアドレス

<http://www.sasebo-shakyo.or.jp>

